

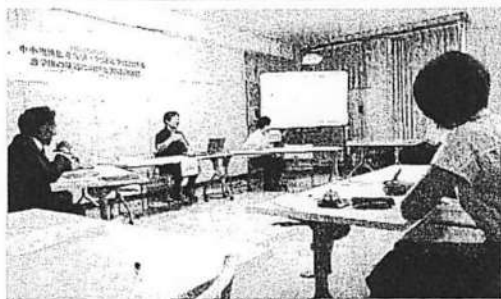
ともに課題解決を

中京学院大など

中小規模私立大同士で研修

瑞浪市土岐町の中京学院大学瑞浪キャンパス（林勇人学長）で十三日、大学教職員を対象にした「合同IR研修会」が開かれた。

IRはインスティテュ



各校と情報や課題を共有する担当者ら進に向けた実践的取り組みをテーマに、同大と九州共立大学、九州女子大学・同短期大学が共催し、このほか文京学院大学が出席し、愛知東邦大学がオンラインで参加した。中京学院大学が同研修会を開くのは、今回が三回目とい

う。研修会ではまず、各大学のIR担当者が事例を紹介し、「退学者予測モデルの構築と退学予防の実践とその効果の検証」などを報告。続いて、各校が抱える課題に対して他校のノウハウなどを活用して助言する「コンサルティング」を実施。「大学の意志決定に学生の意見を取り入れるには」という問いに対し、中京学院大学は学長と学生による座談会形式の「学長ワークショップ」を実施していることを紹介した。